



第366号

2017年 3月

〒461-0004
名古屋市東区葵2丁目6-35
カトリック名古屋教区広報委員会
「教区ニュース」編集部
電話 (052) 935-2223
FAX (052) 935-2254
印刷所 株式会社 荒川印刷
毎月第1日曜日発行

四旬節

3/1~4/13

祈り
犠牲
愛のわざ

3月17日

性虐待被害者の
ための
祈りと償いの日

教区ホームページ

福音の
ひびき

3月の説教者

- 5日 四旬節第1主日 鄭 有喆 (美濃加茂教会)
- 12日 四旬節第2主日 ディブルティウス・ヘリ (瑞浪教会)
- 19日 四旬節第3主日 山口 正美 (港教会)
- 26日 四旬節第4主日 竹谷 基 (多治見教会)

大阪で1万人の列福式ミサ ユスト右近、福者に

クリシタン大名ユスト 長官アンジェロ・アマート枢機卿が2月7日、大阪府中央区の大阪ホールで行われた。教皇代理として列聖省

タグレ枢機卿と日本の司教団、さらに韓国から6人とベトナム、カンボジアから一人ずつ、また、イエズス会士で元上智大学副学長のルクセンブルグ教区オロリッシュユスト大司教が参加して司教団は30人。それに300人の司祭団が殉教を表す真っ赤な祭服に身を包んで共同司式する荘厳な式典となった。



多くの参加者があつたが、五反城教会のバス1台40人が特筆されよう。祭壇後ろの席には近畿地方のカトリック学校生徒と公募による聖歌隊約100人が並んでいた。その中には高蔵寺教会の8人も確認できた。

会場正面にはシンボルマーク2点と十字架が天井からつるされていた。ミサ前には右近の生涯が大型スクリーンを使って紹介された。

正午、鐘の音が響き、ミサが始まる。岡田武夫東京大司教がアマート枢機卿に、神のしもべ、尊者ユスト高山右近の列福

式にはキリスト教諸派の代表者、仏教、茶道の関係者、右近ゆかりの自治体の首長、歴代の駐パチカン日本大使も招かれ、参列者は1万人に達した。名古屋教区からも

それを心えてアマート枢機卿がラテン語の教皇書簡を朗読。「神のしもべ、ユスト高山右近を私(教皇フランシスコ)の使徒的権威によって福者の列に加えます」と宣言し、また、殉教者ユスト高山右近の記念日を2月3日と発表した。

三牧樺子さんの描いた新しい肖像画が除幕によって披露され、右近の聖遺物を納めた顕示台が祭壇脇に置かれ献香された。

式典中に除幕された作者・三牧樺子さんの高山右近の肖像画

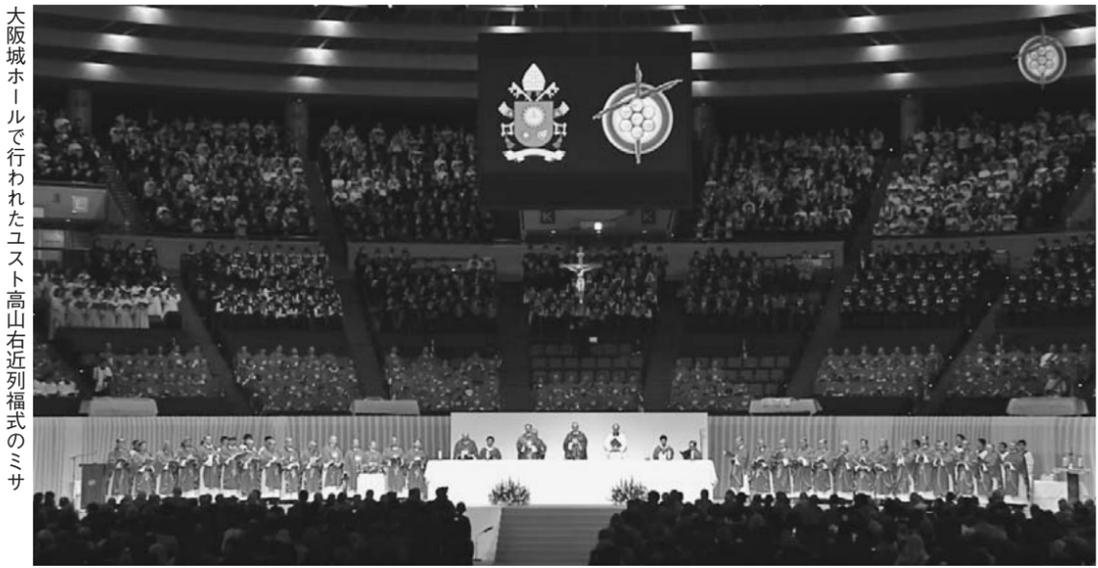
三牧樺子さんの描いた新しい肖像画が除幕によって披露され、右近の聖遺物を納めた顕示台が祭壇脇に置かれ献香された。

日本の教会は数知れない数の殉教者の素晴らしい証しによって祝福されている。教会は迫害によって弱くなるどころか強められる。一粒ずつ落ちた実はいずれ豊かに実る、などとクリシタン時代の殉教者を称賛した。

最後は福者に「わたしたちのために祈ってください」と結んだ。

右近の列福は日本のみならずアジアの教会の喜びであり、聖歌も日本語のほか、韓国語、タガログ語、英語、ベトナム語が用いられた。

共同祈願も右近ゆかりの地、金沢や小豆島の信徒が祈ったほか、各国語でも祈りが献げられた。



式典中に除幕された作者・三牧樺子さんの高山右近の肖像画

最後は福者に「わたしたちのために祈ってください」と結んだ。

共同祈願も右近ゆかりの地、金沢や小豆島の信徒が祈ったほか、各国語でも祈りが献げられた。

2017年名古屋教区 司教叙階記念 司祭・奉献生活者の金銀祝と 助祭叙階式

日時 3月20日(月・祝) 14:00~17:00
場所 カトリック布池教会大聖堂および地下ホール
受階者 早川和彦氏
内容 14:00 助祭叙階式および金銀祝のミサ
15:40 地下ホールで茶話会
会費 無料
主催 カトリック名古屋教区

カトリック名古屋看護協会主催

「松浦司教様と語り合う会」
日時 3月25日(土) 13:00~15:00
場所 聖霊病院第3会議室
対象 看護師
申込み 下記の電話にお願いします
連絡先 聖霊病院カトリック事業部 ☎052-832-1181
担当者 シスター三根久子
申込締切 3月18日(土)

青少年司牧部主催子ども企画

「教会ってなんだろう？」
~みんなで教会の奉仕について考えよう!~
日時 3月20日(月・祝) 12:30より
場所 カトリック布池教会大聖堂
内容 ・終身助祭・早川和彦さんの紹介
・青年有志による劇「ぬくぬくをもちよって」
・松浦司教のおはなし
・典礼奉仕の練習
問合せ 伊藤神父 052-936-8366 (東山教会)

教区殉教者祭・栄國寺 「400年前と同じ信仰」

まことの神伝えたい 浅井神父説教

教区殉教者祭が2月4日、名古屋市中区の栄國寺で開催された。春を感じる穏やかな陽射しの中、司祭15人、信徒は50人を超えるこれまでにない多くの参加者があつた。

ロザリオの祈りに続くミサの始めに、松浦悟郎司教は、高山右近列福を直前に控えたこの日に殉教者祭が行われる意義をまず説いた。

殉教者顕彰委員会の浅井太郎神父(二宮教会)は説教で、「私たちはなぜここに、何のために集

まるのか」と問いかけた。「神への信仰は400年前と同じ。魂の奥底に神の働きかけがあつて、私たちはここに集まつた。キリシタンの歴史はこれまでもあまり書かれてこなかったし、江戸から明治になつても修正されなかつた。今に伝わつてい

ることを折にふれて考えたいと良いだろう」

栄國寺境内に教区が建立した殉教者顕彰碑の碑文について触れ、一宮市の郷土史家、故森徳一郎氏の著書「尾濃切丹札所巡礼」に、千本松原の

刑場で寛文元年(1661年)から4年7年にかけて数千人が処刑された際の非人道的光景が記述されていることを紹介し、男女20人ほどの霊をまつる栄國寺の意味を語った。

さらに、キリシタン時代のカタキズム「下チリナキリシタン」に書かれている教えに変わりはないとした上で、「現代の拝金主義や傲慢な悪霊がはびこる世にあつて、弱者を助けるまことの神は誰なのかを伝えたい。大切なのは命であり、たとえ全世界を得ようとも命を失えば何のためなのか」と、信仰を伝えること

の大切さを訴えた。最後のあいさつで若松一雅住職は栄國寺本尊の阿弥陀如来像について、元は犬山市塔野地の薬師寺(現存していない)にあつたものを二代目尾張藩主徳川光友の命により移したと話した。経緯を知った塔野地の村民が移転から100年後、栄國寺を参拝したエピソードも紹介。さらに話題は映画「沈黙-サイレンス-」にも及び、殉教者祭は和やかに幕を閉じた。

栄國寺に殉教者顕彰碑が建立されたのはちょうど20年前の97年11月、日本26聖人殉教400年の記念の日だつた。

栗木英次

潘主光友は、処刑場を現在の新川町土器野に移し、その跡地にキリシタンの菩提を弔うため栄國寺を建立した。当初は清涼庵と称した。

栄國寺境内にはキリシタン200人余が処刑されたことを伝える切支丹塚もあるが、以前はビルの谷間だつた。先代住職若松啓雅師はここを史跡公園として保存するべく敷地を拡張し、処刑に使用した槍を掛けたといわれる名古屋市指定保存樹ツブラジイも青葉を増して現在に至つている。

殉教者顕彰委員会

信徒協・典礼委 共催

市瀬神父講演会

愛され、支えられ、赦されていることが身に染み渡る「典礼」



市瀬神父

信徒使徒協議会と典礼委員会共催による講演会が11月23日、南山教会マリヤ館で開かれた。テーマは「身に染み渡る「典礼」」。講師は市瀬英昭神父(神言修道会)。講演の要旨は次の通り。

(1) 源泉へ立ち戻ることと現代社会へ適応することが刷新の二大原則である。イエス・キリストの過越秘義が中心であり源泉だ。刷新の目的は、神に感謝と賛美を捧げ、神から豊かな恵みを受けるために、会衆に典礼への行動的参加を促すことにある。

何よりも典礼が「解る」ことが、典礼への行動的参加へと人々が「変わる」ための必須条件。信者の成熟を促し励ますのが本来の典礼祭儀と言え

る。原秘跡であるキリストが、根本秘跡である教会の七つの秘跡に現存し、私たちに働きかけている(典礼憲章7)。

教会はその本性上、祈る教会であると同時に、宣教する教会である。これを体現するモデルがイエス・キリスト。

II 典礼祭儀への「行動的参加」について

(1) 典礼祭儀への「充実した、意識的な、行動的参加」が母なる教会の切なる願いだ。神のことは聞き、感謝の奉獻を行い、聖体を拝領するミサは、一連の礼拝行為。

「行動的参加」は、三つの次元で言われる。①実際の祭儀への参加 ②キリストの祭司職への参加 ③神の三位一体の「いのち」への参加である。

(2) 役職祭司職を担う司教・司祭と共通祭司職に生きる信徒とが、社会の中で協働して生きることが全信者の課題。

典礼参加によって、キリスト者は人類の歴史における神の「救いの秘義」に参加する。真の典礼参加は必然的に、社会的な広がりへ進む。ミサでの食卓も、現実生活で救いを求めている人々と囲む食卓とのつながりなしでは、その意義を失つてしまふ。

III 宣教活動における「典礼祭儀」の意義

典礼祭儀は信仰の学舎で、日常生活は「典礼の(後の)典礼」と言われる。つまり、派遣の祝福を受けた後の祭儀外でも、役職祭司職と共通祭司職が協働し合いながら、「第三の食卓」へ向かう働きが「行動的参加」としての宣教活動なのだ。

典礼祭儀へのこうした「行動的参加」によって、信者が「ひとつ」にされることこそが、教会の宣教活動の基盤なのである。

結論として、「典礼から生まれない宣教は(盲目)であり、宣教へ向かわない典礼は(空虚)です」「典礼によって養われない信者の日常生活は(盲目)であり、日常生活を照らし、励まさない典礼は(空虚)です」。

(市瀬神父の講演レジュメより)

福者ユスト高山右近 教皇「信仰における剛毅と慈愛における献身の模範」



教皇フランシスコ、福者ユスト高山右近に言及、2月8日の一般謁見で - AFP

教皇フランシスコは、2月8日、バチカンでの一般謁見の席で、福者ユスト高山右近を信仰と愛の模範として振り返られた。一般謁見の巡礼者への挨拶で、教皇は前日大阪でとり行われたユスト高山右近の列福について言及。

日本でキリスト教徒として生き、1615年マニラで殉教者として亡くなった右近の、信仰において決して妥協することなく、名誉も豊かさも放棄し、卑しめられ、流刑となることを選んだその生き方を思い起こされた。

教皇は、キリストとその福音に忠実であり続けた福者ユスト高山右近を、「信仰における剛毅と、慈愛における献身の感嘆すべき模範」として称えられた。

熊本地震今後の対応について

一支援金受付終了のお知らせ

カトリック福岡司教区本部事務局 事務局長 青木 悟

2016年4月14・16日の熊本地震発生以来、物心両面の多大なる支援を全国の教区から、また信徒の皆さまから賜り、心より感謝申し上げます。

さて、地震直後からカトリック福岡司教区が受け付けておりました熊本地震支援金に関してですが、2017年3月31日をもって、受付を終了することになりましたので、お知らせ申し上げます。貴教区の小教区、修道院、信徒の皆様にお知らせ下さいますよう、お願い申し上げます。

なお、皆様から寄せられた支援金は2017年1月31日現在で、184,796,786円となっております。その中から被災教会への支援として36,461,016円、被災信徒への義援金として66,158,146円、被災した学校・施設への支援として33,011,232円を支出いたしました。総額135,630,394円です。

今後の予定として、被災教会・施設の修復のために約3千万円を計上しております。頂いた残りの支援金、約2千万円につきましては、今後も現地の要請を受け止めて対応してまいります。

被災地のことは、時間の経過とともに次第に風化してゆく感がありますが、未だに地震発生直後のまま片付けもできない被災者も大勢おられます。どうぞ引き続きお祈りください。感謝と祈りのうちに



日本カトリック司教団 『いのちのまなざし』増補新版

3月9日発売

「21世紀への司教団メッセージ」として2001年に発行された『いのちのまなざし』に大幅な改訂を加え、第二章以降を全面的に書き改めた「増補新版」。混迷を続ける現代社会のさまざまなつながりを深く尊重するよう変わることを訴えていく、新たな司教団メッセージ。

ン(神言会) 東京教区○多治見助任○ブルー・カイン・トゥオン(神言会) 長崎教区○春日井助任○谷村達郎(コンベンツァル聖フランシスコ会) 長崎教区○瀬戸主任○ニコラス・スワイアテック(コンベンツァル聖フランシスコ会) 東京教区○豊橋主任○アーノルド・ブルム(神言会) 安城○豊橋

休職○F・モルク(神言会) 半田○仙台教区○パヴォール(神言会) 多治見○東京教区○フツク(神言会) 南山○海外留学○増田健(クラレチア会) 鳴海○大阪教区○聖フランシスコ会 瀬戸○サバティカル○S・エドワルド(オペレート会) 豊橋

新しい年、分裂の世界に一致を!

「使徒的書簡 あわれみあるかたと、あわれな女」

いつくしみの特別聖年の閉幕にあたり公布された使徒的書簡。混迷する現代社会にあって、聖年が閉じられた今も、「あらゆる他者にいつくしみをもちたらず者であるように」との招きにこたえていくよう促す。

原文タイトル Misericordia et misera
価格 本体価格 125円 (税込135円)

カトリック中央協議会出版部へご注文
03-5632-4429、FAX 03-5632-4456
全国のカトリック書店で取扱っています。



第26回聖霊病院ボランティア基礎講座ご案内

- 対象 1. 聖霊病院でのボランティア活動希望の方
2. 聖霊病院でボランティア活動中で、まだ受講していない方
3. 聖霊病院ホスピスボランティア講座受講希望の方

定員 20名
日程 第1日: 4月24日(月) 13:30~16:00
第2日: 4月25日(火) 13:30~16:00
会場 聖霊病院 2号棟アーノルド館4階 第3会議室
問合せ・申込み・締切り
聖霊病院 カトリック社会事業室(担当: 矢沢)
〒466-8633 名古屋市中昭和区川名山町56
052-832-1181(代) 4月7日(金) 締切り

第13期聖霊病院ホスピスボランティア講座ご案内

定員 16名(定員になり次第締め切り)
場所 聖霊病院 2号棟アーノルド館4階 第3会議室
日程 下記の通り10回20時間(講義) 火曜日13:30~16:00
5月23日/6月6日/6月20日/7月4日/7月25日/9月12日/
1月16日/1月30日/2月6日/2月20日/3月6日

基礎講座を修了していることが条件になります。未受講の方は必ず参加してください。

主な内容 ホスピスの歴史と理念・ホスピスの目的・ホスピス聖霊の理念・コミュニケーションスキル・ホスピスボランティアの役割・看護サービス・チームナーシング・身の回りの世話・死の兆候・死ぬことについて・在宅ケア・社会資源の利用・スピリチュアルケア・悲しみと喪失・グリーフケア・遺族のケア・祈りのサービス・傾聴・感染コントロール など

- 受講資格
1. 聖霊病院ボランティア基礎講座修了者であること。
2. 全10回全てを受講すること、および並行してボランティア体験(1年間60時間以上)が可能なる方。
3. 心身ともに健康なる方。
4. 今後計画される継続研修に参加することができる方。
5. 18歳以上であること。
6. 将来、聖霊病院ホスピス聖霊において毎週1回、決められた曜日の午前9時15分から午後4時まで、年間を通して活動ができる方。

東日本大震災・福島原発事故 犠牲者追悼・復興祈願の日

日時 3月11日(土)
場所 カトリック布池教会大聖堂
プログラム
13:00~13:50(地下ホール)
被災地パネル展示、被災地支援物品販売
14:00~(大聖堂)
講話 「フクシマの今から、福音の真摯さへ」
~環境・社会福音化に向かって~
狩浦正義神父(名古屋教区司祭)

ノベナの祈り
3月2日(木)~10日(金)の期間、毎日各自・グループでロザリオ一連と「東日本大震災被災者のための祈りII」を唱えましょう。
問合せ: 連絡先
福信館気付 実行委員会事務局・社会福音化推進部
052-935-7180 FAX 052-935-7195
主催 カトリック名古屋教区

文化・文芸



被災した福島県高岡町を視察する司教ら

メッセーや書籍で…「即時廃止」強める

「即時廃止」を強める。メッセーや書籍で。原発「神が与えた人間の位置、逸脱」

「判断困難」「脱依存」割れる対応
「判断困難」「脱依存」割れる対応
「判断困難」「脱依存」割れる対応

「判断困難」「脱依存」割れる対応
「判断困難」「脱依存」割れる対応
「判断困難」「脱依存」割れる対応

日本カトリック教会の原発廃止
「今こそ原発の廃止を」
「日本カトリック教会の原発廃止のメッセー」が朝日中央協議会刊を昨年10月19日付に原発「神

「判断困難」「脱依存」割れる対応
「判断困難」「脱依存」割れる対応
「判断困難」「脱依存」割れる対応

神言修道会司祭叙階式のお知らせ

日時 3月18日(土) 14:00~16:30
場所 カトリック南山教会
名古屋市中昭和区南山町1
(地下鉄鶴舞線いりなか駅下車徒歩5分)
司式 ミカエル松浦悟郎司教
受階者 アルフォンス・アフリ・ディエゲル助祭
セルファシウス・サルファノ・ジャマン助祭
問合せ カトリック南山教会
052-831-9131
連絡 駐車場には限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
初ミサ 3月19日(日) 10:00~
場所 神言神学院
〒466-0823 名古屋市中昭和区八雲町70-9
052-832-2082

東日本大震災復興祈念

チャリティー讃歌唱(教会コンサート)
~あの日を私も忘れない~
日時 3月11日(土) 15:00~18:30
場所 カトリック刈谷教会 刈谷市東陽町4-37
曲目 第1部 15:00~16:30
「アヴェ マリア」(シューベルト・グノー他)
第2部 17:00~18:30
「古典オペラに眠る神への讃歌」
出演 名古屋二期会員
入場料 無料
問合せ 090-2617-3518(森本)
主催 名古屋二期会イタリア歌曲研究会
共催 カトリック刈谷教会

男声合唱団東海メールクワイアー

第60回記念定期演奏会

日時 3月26日(日) 13:30開演
場所 愛知県芸術劇場コンサートホール
演奏
第1ステージ: 2大作曲家の合唱曲
Murdunud aer (折れたオール) 他
第2ステージ: 新世代作曲家の合唱曲 I
In Paradisum (天国へ) 他
第3ステージ: 新世代作曲家の合唱曲 II
Mis on inimne? (人間とはなにか?) 他
第4ステージ: ワンステージメンバー・参加ステージ
Helletused (幼き頃の思い出) 他
指揮: アンツ・ソーツ
(エストニア国立男声合唱団名誉指揮者)
倉橋亮介(エストニア・トゥリ少年合唱団指揮者)
ソプラノ: 渡邊まりえ
入場 全席自由席 2,000円
愛知芸術文化センタープレイガイド
052-972-0430
問合せ 中野 暁 052-811-4330
HP http://choir.jpn.ph/tmc/
主催 東海メールクワイアー

聖劇「細川ガラシャ、その信仰と生涯」

公演に向けて合唱団員募集
合唱団名 聖劇「細川ガラシャ、その信仰と生涯」の合唱団
指導者 出田光代先生(名古屋演奏家ソサエティ会員)
練習場所 当面はカトリック平針教会またはカトリック膳棚教会
練習日 月2回、原則として第1週土曜日は平針教会で午後2時~4時、第3週土曜日は膳棚教会で午後5時~7時ですが、人数が多くなれば参加頂き易い様にお近くの練習会場を計画します。
公演の予定 第1公演 11月4日(土) カトリック多治見教会
第2公演 11月5日(日) ウィル愛知
指導料 2,000円/月
説明会 4月22日午後2時から平針教会と同日午後5時から膳棚教会にて行い、楽譜はその時お買い求めください。
申込先 井上泰子 0561-73-2612(電話・ファックス)
深堀冴子 090-9172-4947(携帯電話)
申込内容 氏名・性別・年齢・住所・電話・パート・所属教会
問合せ 森野秀樹 052-801-2368(電話)
(コラーレ・コンフォーレ代表)
ご質問のある方は3月以降に森野までお電話下さい。

あらゆる壁を越える教会をめざす中で

めぐみカンガンバレ!!

.....by あこ



十字架を担い
ゴルゴダの丘に向かう
途上でイエスは
何を思ったか
受肉し
親に育てられ
人の中に住まれた
イエスとなら
赤い血が流れ

我々が知りうる肉体的
痛みを同じように
感じたはずなのに

心は
救いの
ない
救いの
ない
救いの
ない

エリエリ
レマサバクタン

三つ目の
知った
だど味
だど味
だど味

世界中が
おかしな
なにか
なにか
なにか

神に
自分の
認めて
認めて
認めて

価値を
価値を
価値を

3月の教会暦

1日(水) 灰の水曜日(大斎・小斎)
四旬節愛の献金
5日(日) 四旬節第1主日
12日(日) 四旬節第2主日
17日(金) 日本の信徒発見の聖母(祝)
性虐待被害者のための祈りと償いの日
19日(日) 四旬節第3主日
20日(月) 聖ヨセフ(祭)
名古屋教区司教座聖堂献堂記念日
26日(日) 神のお告げ(祭)
四旬節第4主日
2日(日) 四旬節第5主日
9日(日) 受難の主日(枝の主日)
世界青年の日
13日(木) 聖木曜日(主の晩さん)
14日(金) 聖金曜日(主の受難)
聖地のための献金
15日(土) 聖土曜日
16日(日) 復活の主日
23日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)

4月の主な教会暦(主日・祭日など)

2日(日) 宣教師司教評議会
8日(土) 信徒協理事會
9日(日) 教区中高中生会
11日(火) 樹の会
12日(水) 聖香油ミサ* / 司祭月集*
16日(日) 五反城教会ミサ* / 愛岐B会議 / 青年委員会
20日(木) 教区顧問会*
22日(土) 愛岐B女子錬成会 / 典礼委員会 / レジオ名古屋クリア修女連総会
23日(日) 難民移住移動者委員会
25日(火) 信徒協委員総会
30日(日) 信徒協委員総会

3月

2日(木) 宣教師評議会
3日(金) 世界祈禱日
4日(土) 濃尾B会議 / 教区障害者の黙想会(5日)
8日(水) 社会福祉委員会
11日(土) 東日本大震災犠牲者追悼・復興祈願の日*
12日(日) 稲沢教会40周年ミサ* / 三河B会議 / 教会学校教師会

4月

6日(木) 常任司教委員会
10日(月) 難民移住移動者委員会
21日(火) 南山学園評議員会
18日(土) 神言会叙階式
16日(木) 南山中学講演会
14日(火) 布池外語専門学校卒業式
13日(月) 難民移住移動者委員会
9日(木) 司教常任委員会

14日(火) 樹の会 / 難民移住移動者委員会
19日(日) 城北B会議 / 城東B会議 / 青年委員会
20日(月) 祝終身助祭叙階式* / 司祭・修道者金銀祝の祝い*
23日(木) 司祭月集* / 教区顧問会*
25日(土) 教区法人評議会* / 青年委員会 WYD名古屋(26) / レジオアアチェス / カトリック看護協会
27日(月) 29日(水) 教区中高中生会春のフォーラム*

4月

2日(日) 宣教師司教評議会
8日(土) 信徒協理事會
9日(日) 教区中高中生会
11日(火) 樹の会
12日(水) 聖香油ミサ* / 司祭月集*
16日(日) 五反城教会ミサ* / 愛岐B会議 / 青年委員会
20日(木) 教区顧問会*
22日(土) 愛岐B女子錬成会 / 典礼委員会 / レジオ名古屋クリア修女連総会
23日(日) 難民移住移動者委員会
25日(火) 信徒協委員総会
30日(日) 信徒協委員総会

WYD in 名古屋2017

わあわあわ! 和、話、輪! クラク・フリカエル

A - GIFT なら!

日時 3月25日(土) 13時 ~ 26日(日) 13時
会場・宿泊 聖霊ミッションセンター 名古屋市昭和区八事本町1
地下鉄名城線八事日赤駅徒歩7分
対象 18歳以上(高校生可) 参加費 社会人4,000円・学生3,000円
申込み 次の項目を(catholic.nagoya.youth@gmail.com)までメールで送信する
(①氏名・ふりがな②性別③学生・社会人の別④生年月日⑤年齢⑥所属教会⑦住所⑧電話番号⑨緊急連絡先⑩メールアドレス⑪現地までの交通手段⑫使用言語⑬司教様への質問 ※件名に「WYD in 名古屋2017参加申込み」)
申込締切 3月19日(日) 申込確認・詳細案内 申込者にメールで送られます。
問合せ 片岡神父 076-421-3508 (富山教会)
メール catholic.nagoya.youth@gmail.com

教区中高中生会

中高生フォーラム2017

便利で楽しいけど、みんなの身近な問題! ネットスマホゲームの依存について考えよう!

日程 3月27日(月)~29日(水)
会場 カトリック名古屋教区センター
対象 新中学2年生~新高校3年生
参加費 5,000円
申込 教会に配布済みの申込用紙に必要事項を記入し、郵送かファクスにて。
締切 3月19日(日) 必着
問合せ 伊藤神父 052-936-8366 / 片岡神父 076-421-3508

25日(火) 管区青年担当者会議

建設費の返済に協力を

561件 28,266,695円
目標額 40,000,000円 (1月末)



達成率 約70.6%

郵便振替 00810-5-50605
加入者名 カトリック名古屋教区
通信欄に「福音館建設」と必ずご記入ください。

聖パウロ女子修道会(聖パウロ書院)から

「ロザリオの祈り」

日時 3月12日(日) 14:00
場所 聖パウロ書院
どなたでも参加できます。

聖パウロ書院のお休み

日時 3月30日(木)~4月1日(土)
書院整理のため、お休みします。
問合せ ☎052-936-4443 担当・Sr 永峰、Sr 森

カトリック中央協議会の

サイトがリニューアル

カトリック中央協議会のサイトが、より使いやすく、よりわかりやすいサイトになるよう、ページ構成やサイトデザインを全面的に見直した。リニューアルに伴い、全ページのアドレスが変更になっている。
以下が新しいトップページのアドレス。ブックマークまたはリンクの変更を。https://www.cbcj.catholic.jp/
カトリック中央協議会事務局

告知板

福音館便り ☎052(935)7180
◇3月の炊き出し 木2日布池、9日東海・南山・樹の会、16日聖霊・南山・樹の会、23日城北橋、30日江南、金3日喜望の会、10日布池、17日一宮、24日長浦、31日南山

神言会多治見修道院・黙想会

閑静な場所、広い院庭で黙想と心身の保養を!

指導は及川神父、対象は信徒です。
3月11日(土) 10:00~12日(日) 16:00
イエスは言われた「私に従いなさい」と(マタイ9の9)
4月15日(土) 10:00~16日(日) 16:00
イエスは言われた「私を信じる者は、渴くことがない」と(ヨハネ6の37)
※申込み、宿泊費、食事、謝礼など詳細は多治見修道院研修センターまで。
多治見研修センター ☎0572-22-2038、携帯 090-7696-8089、Fax 0572-22-2076
営業時間 午前9時~午後4時半

《2017年 名古屋一日静修》

三位一体の聖エリザベトの祈り

—現代人へのメッセージ—



日時 3月20日(月・祝) 10:00~16:00
講師 古川利雅 神父「いのちの泉であるお方とともに」
場所 カトリック日比野教会 信徒会館
(地下鉄・名城線日比野駅下車 徒歩約5分)
参加費 1,000円
持ち物 聖書、ロザリオ、筆記用具、お弁当
申込み 下記いずれかの方法で。
FAX / 0568-62-5167
E-mail / seisyuu_2015@yahoo.co.jp
ハガキ / 〒484-0076 犬山市橋爪一丁目1-26
「名古屋一日静修」係
主催 跣足カルメル修道会 / 協賛 カルメル在世会

東日本大震災・災害支援金の報告

社会福祉委員会
発災時より社会福祉委員会へ振込まれた支援金を下記の通りご報告いたします。
暖かいご支援に心より感謝いたします!!

(振込手数料引去後の金額)

| 項目 | 2011.3.17 発災から 2016.12.31までの合計 | | 2011.3.17 発災から 2017.1.31までの合計 | |
|------------------|-----------------------------------|------------------|----------------------------------|------------------|
| | 2011.3.17 発災から 2016.12.31までの合計 | 単月明細 1/1~1/31 | 2011.3.17 発災から 2017.1.31までの合計 | 単月明細 1/1~1/31 |
| 収入 | | | | |
| 支援金総額 | 25,948,481 | (※2) 72,670 | 26,021,151 | |
| (※1) チャリティーワイン販売 | 894,160 | 0 | 894,160 | |
| 収入合計 | 26,842,641 | 72,670 | 26,915,311 | |
| 支出 | | | | |
| カリタスジャパンへ | 9,544,038 | 0 | 9,544,038 | |
| さいたま教区 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 | |
| オールジャパン会議交通費 | 123,620 | 0 | 123,620 | |
| 大船渡プロジェクト支援 | 13,156,234 | 0 | 13,156,234 | |
| ベースへ車いす4台贈呈 | 123,200 | 0 | 123,200 | |
| ベースへピアノ贈呈 | 58,800 | 0 | 58,800 | |
| 支援ボランティア交通費 | 471,150 | 0 | 471,150 | |
| 支出合計 | 24,477,042 | 0 | 24,477,042 | |
| 単月・支援金残高 | 2,365,599 | 72,670 | 2,438,269 | |
| 支援金残高合計 | | | 2,438,269 | |

(※1) チャリティーワインとは
司教座記念ラベルワインと3.11東北震災支援ワインを販売。
1本2000円で販売し内500円が災害支援金となりました。
ご協力ありがとうございました。(販売終了致しました)

(※2) 1月度に支援金のご協力いただいた小教区・個人(敬称)
金沢教会 (合計) 72,670円

★名古屋教区は「カリタス大船渡ベース・地ノ森いこいの家」とNPO法人「障がい者自立センターかまいし」と大阪教会管区として2016年10月から新たに「カリタス米川ベース」を応援しています。
★支援金振込先 郵便振替用紙にて
口座番号 00880-0-1628
名義 カトリック名古屋教区社会福祉委員会
「東日本大震災・災害支援金」と記入願います。

ご連絡・問合せ先
社会福祉委員会
電話 052-852-1426
FAX 052-852-1422